

# PCフォーラム

J A土浦パソコン研究会会報 2017年8月号

事務局：JA土浦本店 営農部営農企画課

住所：土浦市田中1-1 電話：823-7001

ホームページ <http://www.dappe.com/>

ブログ <http://dappe.chicappa.jp/japc/>

メールアドレス [japc1@dappe.com](mailto:japc1@dappe.com)

ぱそこんだっぺ [【検索】](#)



## ◆バーベキュー開催要項

8月29日(火) 午後7時より9時ころ

場所 JA本店前広場

会費 1,000円

締切 8月22日

## 特集 アイスマン



気候変動・温暖化で大雨、干ばつなど世界中で異変が起き

ていますが、そのおかげで思いもよらない大発見がありました。今から26年前の1991年9月、イタリアとオーストリア国境を通りかかった二人の登山者夫婦により、氷の中からうつぶせの状態で上半身が出ている男性の遺体が発見されました。現場は標高3200m地点。遺体は体の水分が抜けて「ミイラ化」していた。



## 5300年前の古代人 当初こ

の遺体は前の時代の遭難者だと思われた。身元を特定するために付近を探索すると、現代社会のものとはかけ離れた遺品が次々と発見された。銅製の斧、弓、矢14本とそれを入れる矢筒、石の短刀、火を起す時に使う道具類、熊の革の靴(中には干し草が詰め込まれていた)、革のゲートルと草で編んだ服に外套と思われるもの、熊の毛皮の帽子。これらの品々と遺体を科学的に鑑定したところ約5300年前のものであることがわかった。遺体は発見場所のエッツタールから取って「エッツイ」と名づけられた。また氷の中から見つかったことで「アイスマン」とも呼ばれる。この遺体は「冷凍状態」で発見されたので古代史を研究する上で超一級の資料となった。

**殺害されていた** 死因については吹雪による遭難死と見られていたが、発見から10年後左肩の下に石の「矢じり」が発見された。その後の調査で矢は右下肋骨から左肩下へ貫通し、心臓から肺に行く太い血管を傷つけたことがわかった。これにより大量出血し脳に血液が回らなくなり意識不明となって約10分程度で死亡す

定例会予定 毎週火曜日 午後7時30分から

8月8日 エクセル・会計など

8月15日 休み

8月22日 デジカメ講座、エクセル・ワードなど

8月29日 バーベキュー大会

9月5日 パワーポイント、チャットなど

9月12日 ムービーメーカーなど

9月19日 デジカメ講座、画像処理など

9月26日 カービング講座、エクセルなど

## ◆ごあいさつ 会長 小林 芳行

皆さんこんにちは。八月を迎えお盆もまもなくで忙しい日々を過ごしておられると存じます。研究会の役員会ではラインとメーリングリストを活用してweb上で協議ができるような取り組みを行っています。会員の皆様方でも、忙しくて定例会に出られないときに、メーリングリストやメールで質問承ります。同時刻にパソコンに向かって、キーボードをたたいて質問と回答を交互に行うことをチャットといいます。これは古くからパソコン通信が行われていたころからあるものです。今でも、外資系企業では製品のご相談窓口で、チャットでどうぞというところがあります。

アメリカの企業のレンタルサーバーを借りているというような場合もチャット窓口があります。それにはキーボードから正確に早く打ち込むことが必要です。チャットに限らず、ホームページやブログを運営したい、何かを売りたいというような場合もホームページでカートに入れてくれれば売れるのではなく、問い合わせなどが必ずあります。そういうところに対応するにはキーボードタイピングが絶対必要です。

定例会ではメーリングリスト上で定められた文章をできるだけ早く正確に入力して送信する練習もしています。これは家からもできますので、是非ともチャレンジしてみてください。

さて、今月は恒例の「バーベキュー大会です。下記の通りご案内申し上げます。



銅製の斧

るといふ。頭にも出血の跡があり、矢を射られて倒れた時か、とどめを刺すため殺害者に石で殴られたのか……。また右手親指と人差し指の間に骨まで達する切り傷も受けており、死亡する前に何らかの激しい闘争があったとみられている。

## 古代の殺人事件を解明する 被害者が殺害されたのは晩春であると確定された。

それまでの2日間の行動が消化器から採取された樹木の花粉の分析から明らかになった。まず3kmから一度低い所まで下りそれからまた3kmまで上がってきて殺害されている。闘争相手に追われての行動なのか。一方別の見方がある。死亡したのは4月だ。その時は埋葬地となった発見場所ではまだ雪が深く埋葬できないため雪が少なくなる夏に埋葬したという。その根拠として、夏の花粉が遺体やその周りから採取されているのと。遺品の数々が整然と置かれていたという点。当時として最新の武器である銅製の斧がそのままあったという事。弓は弦が張ってなく14本の矢も使えるのは2本だけで未完成（儀式のため用意したか?）。また殺害に使われた矢の柄が抜かれていた点だ。しかし矢の柄が抜かれた点は、殺害者が自分の矢だと分からなくするため持ち去ったのだとの解釈もある。「誰が」については部族同士の争いか、仲間内の内紛かわからない。銅製の「斧」は当時として貴重なもので、グループ内の地位は高かったとみられている。

## 遺体は雪に埋もれていった 約10万年ごとに来るといふ氷河期も今から

1万年前に終わり、5千年前は現代の様な温暖な気候が続いていた。だが、3kmの岩山で遺体には雪が降り積もりそれが凍って氷雪の中に埋れていった。年齢45歳くらい、身長150cm、体重50kg、O型の血液型、瞳は茶色、心臓病になりやすい因子を持っているという。今は北イタリア ボルツァーノ市 南チロル考古学博物館の特別冷凍室で、-7.2℃、湿度99%で厳重に保管されている。また世界中の研究者のために精巧なレプリカも作成された。

日本でも2005年4月「愛・地球博」で名古屋市と豊橋市で公開されている。



## ◆ワンポイント 画像と写真関連

- リサイズ・・・デジカメ等で撮影した写真の元のサイズを縮小すること。
- ピクセル・・・コンピューターで画像を扱うときの最小単位で、ドットと同じ。デジカメの写真サイズが6000ピクセル×4500ピクセルなどを使う。ちなみに、フルハイビジョンの液晶テレビは1080×1920ピクセル。（ドット）
- トリミング・・・画像の不要な部分をカットして必要な部分だけ切り出し加工すること。
- ファイル形式 jpeg・・・一般的なデジカメで保存される写真の圧縮されたファイル形式。
- ORAW（ロー）形式・・・デジタル一眼レフで保存される形式。センサーを通った元のままの手を加えていない形式で保存されたファイル。現像ソフトを使ってjpeg形式に現像するが使うソフトによっても結果が違ってくる。
- 最低限守ること・・・元の写真は絶対残す。加工したファイルは必ず1文字でもいいから付け加えて違うファイル名で保存する。

◆【編集後記】 今月はバーベキューがあります。皆様のご参加をお待ちしています。パソコン研究会の撮影会は次回10月か11月を予定しています。今まで参加できなかった方も是非考えてみてください。ファインダー越しに新しい発見があるかもしれません。また、カービング講座は、いつもパソコンとにらめっこの肩の力を抜いて、別な自分を発見するための取り組みです。料理にも応用でき女性型の絶大な人気を誇っています。会員外の方でも大丈夫ですので気軽に誘っておいでください。（狩野、こばやし）